



# 平成22年3月期 第2四半期決算説明会資料

平成21年11月10日（大阪）

平成21年11月11日（東京）

**石原薬品株式会社**

（大証二部 4462）

URL: <http://www.unicon.co.jp>

# 目 次

## ➤ 第2四半期決算の概要

(代表取締役社長 竹森 莞爾)

平成22年3月期 第2四半期の実績  
営業品目別売上高比較  
営業の状況  
平成22年3月期の業績予想  
平成22年3月期の営業品目別売上高比較  
平成22年3月期の事業予想のポイント  
営業品目別売上高推移  
中期経営計画について  
経営の基本方針  
当社の特徴  
目標とする経営指標等  
株主還元・内部留保の考え方

## ➤ 新技術、新製品開発の状況

(代表取締役専務 時澤 元一)

技術動向、新製品開発の状況  
めっき製品紹介  
部品紹介

## 《参考資料》

総資産・純資産  
1株当たり純資産・自己資本比率の推移  
展示会出展予定のご案内

## ➤ 決算の詳細

(常務取締役 浅野 真司)

損益計算書の概要  
製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移  
貸借対照表の概要  
キャッシュ・フロー計算書の概要  
キャッシュ・フローと設備投資額の推移  
研究開発人員と研究開発費

# ➤ 第2四半期決算の概要 (代表取締役社長 竹森 莞爾)

## 平成22年3月期 第2四半期の実績

(単位：億円)

	平成20年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期(a)	平成22年3月期 第2四半期(b)	差異 (b)-(a)	修正発表値	修正発表 との差異
売上高	81.4	79.2	61.9	17.3	59.0	2.9
売上総利益	22.6	20.6	16.4	4.2	15.4	0.9
営業利益	7.7	5.3	2.1	3.2	0.7	1.4
経常利益	7.9	5.8	2.2	3.6	0.9	1.3
四半期純利益	4.9	2.7	1.4	1.3	0.5	0.9
1株当り四半期純利益(円)	66.82	36.43	20.90		7.21	

## 平成21年3月期 第2四半期との差異内容

### ◆ 売上高 ( 17.3億円)

製品売上	8.0億円
商品売上	9.3億円

### ◆ 売上総利益 ( 4.2億円)

製品売上総利益	4.3億円
商品売上総利益	+ 0.1億円

### ◆ 四半期純利益 ( 1.3億円)

販管費	1.0億円
営業利益	3.2億円
営業外損益	0.4億円
経常利益	3.6億円
特別損失	1.6億円
法人税等	0.8億円

## 修正発表との差異内容

### ◆ 売上高 (+ 2.9億円)

製品売上	+ 1.3億円
商品売上	+ 1.6億円

### ◆ 売上総利益 (+ 0.9億円)

製品売上総利益	+ 0.6億円
商品売上総利益	+ 0.3億円

### ◆ 四半期純利益 (+ 0.9億円)

販管費	0.5億円
営業利益	+ 1.4億円
経常利益	+ 1.3億円
法人税等	0.4億円

## 営業品目別売上高比較

(単位：億円，%)

	平成21年3月期 第2四半期 (a)	平成22年3月期 第2四半期 (b)	差異 (b)-(a)	第1四半期 修正予想	期初計画
<b>製品</b> 金属表面処理剤及び機器等	26.0 32.9%	19.4 31.4%	6.6	18.2	15.2
電子材料	2.0 2.5%	1.0 1.6%	1.0	1.0	1.1
電子関連分野 計	28.0 35.4%	20.4 33.0%	7.6	19.2	16.3
自動車用化学製品等	5.5 6.9%	5.2 8.4%	0.3	5.2	5.0
工業薬品	0.8 1.0%	0.7 1.1%	0.1	0.6	0.6
製品合計	34.3 43.4%	26.3 42.5%	8.0	25.0	21.9
<b>商品</b> 金属表面処理剤及び機器等	4.5 5.6%	6.2 10.0%	1.7	5.5	2.6
電子材料	13.8 17.4%	7.6 12.3%	6.2	8.1	6.8
電子関連分野 計	18.3 23.0%	13.8 22.3%	4.5	13.6	9.4
自動車用化学製品等	2.7 3.4%	2.6 4.2%	0.1	2.3	2.5
工業薬品	23.9 30.1%	19.2 31.0%	4.7	18.1	18.2
商品合計	44.9 56.6%	35.6 57.5%	9.3	34.0	30.1
合計	79.2 100.0%	61.9 100.0%	17.3	59.0	52.0

(平成21年7月30日発表)

業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 営業の状況

**電子関連分野** 売上高 34.1億円（前年同期 46.3億円 26.2%減） 売上構成比 55.2%  
在庫調整の進展と内外の家電購入支援策の効果からデジタル家電やパソコンの販売が改善し、アジア向け電子部品等の輸出も持ち直し、需要は改善。

**金属表面処理剤及び機器等** 売上高 25.5億円（前年同期 30.5億円 16.3%減）

めっき液 需要は海外が先行する形で緩やかな回復基調。  
バンプ対応めっき液は国内・海外とも高い伸び率、COF対応めっき液は国内需要が伸びず、リードフレーム、コネクタ等は依然として低迷。

**化成処理液自動管理装置及び試薬**

装置導入の延長・凍結など設備投資に消極的な企業が多く、ユーザーのライン稼動状況も完全には回復が見込めず、試薬使用量も伸び悩む。

**電子材料** 売上高 8.6億円（前年同期 15.8億円 45.5%減）

**ニッケル超微粉**

需要先のセラミックコンデンサの生産の減少と競合参入による納入数量減により低調。

**機能材料加工品**

半導体製造装置向け、液晶製造装置向けとも全般的に需要減により販売は低調に推移。

**自動車用品分野** 売上高 7.7億円（前年同期 8.1億円 4.7%減） 売上構成比 12.5%

エアコンフィルターが標準装備となりフィルター交換需要が高まり、カーディーラーでの交換時にエアコン洗浄を同時施工する提案を促進し売上増加。  
景気低迷の影響を受け回復が遅れている溶接関係薬剤は低迷。

**工業薬品分野** 売上高 19.9億円（前年同期 24.7億円 19.2%減） 売上構成比 32.3%

鉄鋼業界の需要は低水準であるが、内外需とも在庫調整の進展を受け回復基調。鉄鋼各社で減産緩和の動きが拡大。  
建材不況による需要低下によりアルミの需要が減少、鉄鋼向け一般薬剤の需要も減少。

## 平成22年3月期の業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：億円)

	平成21年3月期 (ご参考)			平成22年3月期			
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
	実績			実績	予想	予想	伸び率
売上高	79.2	53.8	133.0	61.9	62.6	124.5	6.4%
営業利益	5.3	1.7	3.6	2.1	2.6	4.7	30.6%
経常利益	5.8	1.5	4.3	2.2	3.0	5.2	20.9%
当期純利益	2.7	3.4	0.7	1.4	2.0	3.4	-
1株当たり当期純利益(円)	/		9.76	/		49.02	-
1株当たり配当金(円)	/		36	/		30	/

(平成21年10月29日発表)

業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 平成22年3月期の営業品目別売上高比較

(単位：億円，%)

		平成21年3月期	平成22年3月期 期初計画 (a)	平成22年3月期 修正計画 (b)	差異 (b)-(a)
金属表面处理剤及び機器等	製 品	39.2 29.5%	40.2 33.5%	40.1 32.2%	0.1
	商 品	7.1 5.4%	7.0 5.8%	12.8 10.3%	5.8
	計	46.3 34.9%	47.2 39.3%	52.9 42.5%	5.7
電 子 材 料	製 品	3.5 2.6%	2.6 2.2%	2.3 1.8%	0.3
	商 品	21.3 16.0%	14.0 11.7%	14.7 11.8%	0.7
	計	24.8 18.6%	16.6 13.9%	17.0 13.6%	0.4
自動車用化学製品等	製 品	10.0 7.5%	10.1 8.4%	9.9 8.0%	0.2
	商 品	5.3 4.0%	5.2 4.3%	4.9 3.9%	0.3
	計	15.3 11.5%	15.3 12.7%	14.8 11.9%	0.5
工 業 薬 品	製 品	1.4 1.1%	1.3 1.1%	1.5 1.2%	0.2
	商 品	45.2 33.9%	39.6 33.0%	38.3 30.8%	1.3
	計	46.6 35.0%	40.9 34.1%	39.8 32.0%	1.1
製 品 合 計		54.1 40.7%	54.2 45.2%	53.8 43.2%	0.4
商 品 合 計		78.9 59.3%	65.8 54.8%	70.7 56.8%	4.9
合 計		133.0 100.0%	120.0 100.0%	124.5 100.0%	4.5

(平成21年10月29日発表)

業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 平成22年3月期の業績予想のポイント

---

### 販売の状況（通期の見通し）

#### 電子関連分野

国内外での家電購入支援策によるデジタル家電、パソコンの需要が拡大し、足元好調さを持続するも先行きの不透明感は強い。

#### 金属表面処理剤及び機器等

##### 電子部品用外装めっき液

需要動向は、バンプ対応めっき液、COF対応めっき液中心に推移し、IC、コネクタは依然として低迷が予測される。

##### 化成処理液自動管理装置及び試薬

液晶関係を中心に生産回復を受け、試薬はやや伸びると予測されるが、装置は、全般としては導入意欲は低い。

#### 電子材料

##### ニッケル超微粉・機能材料加工品

上期とほぼ横ばい程度と予測。

#### 自動車用品分野

エアコンフィルター交換需要に合わせたエアコン洗浄の同時施工を提案し定着化。

#### 工業薬品分野

鉄鋼向け、公共事業体、環境分野向け薬剤需要も回復傾向となり前年比85%程度まで回復するものと予測。

## 平成22年3月期の業績予想のポイント

---

### **売上高・売上総利益**

- (1) 上期は修正予想を上回り、前年同期比78%まで回復、下期は上期より若干の伸び。
- (2) バンプ対応めっき液、COF対応めっき液中心に推移、輸出が先行し伸び見込む。
- (3) 製品ほぼ前期並みを維持、商品は業界動向より伸びが鈍化を見込む。(製品比率アップ)
- (4) 原材料価格落ち着き原価アップ要因の改善( ) 収益性改善。

### **経費・人件費の圧縮**

人件費を含む総経費の圧縮を上期に続き図る。

**研究開発費** : 890百万円計画(製品売上高の15.6%)前年比115.5%

新製品開発、新技術開発の促進(銅めっき関連、ナノ粒子関連他)

一部研究費の期ズレ、前倒しで増減あり。

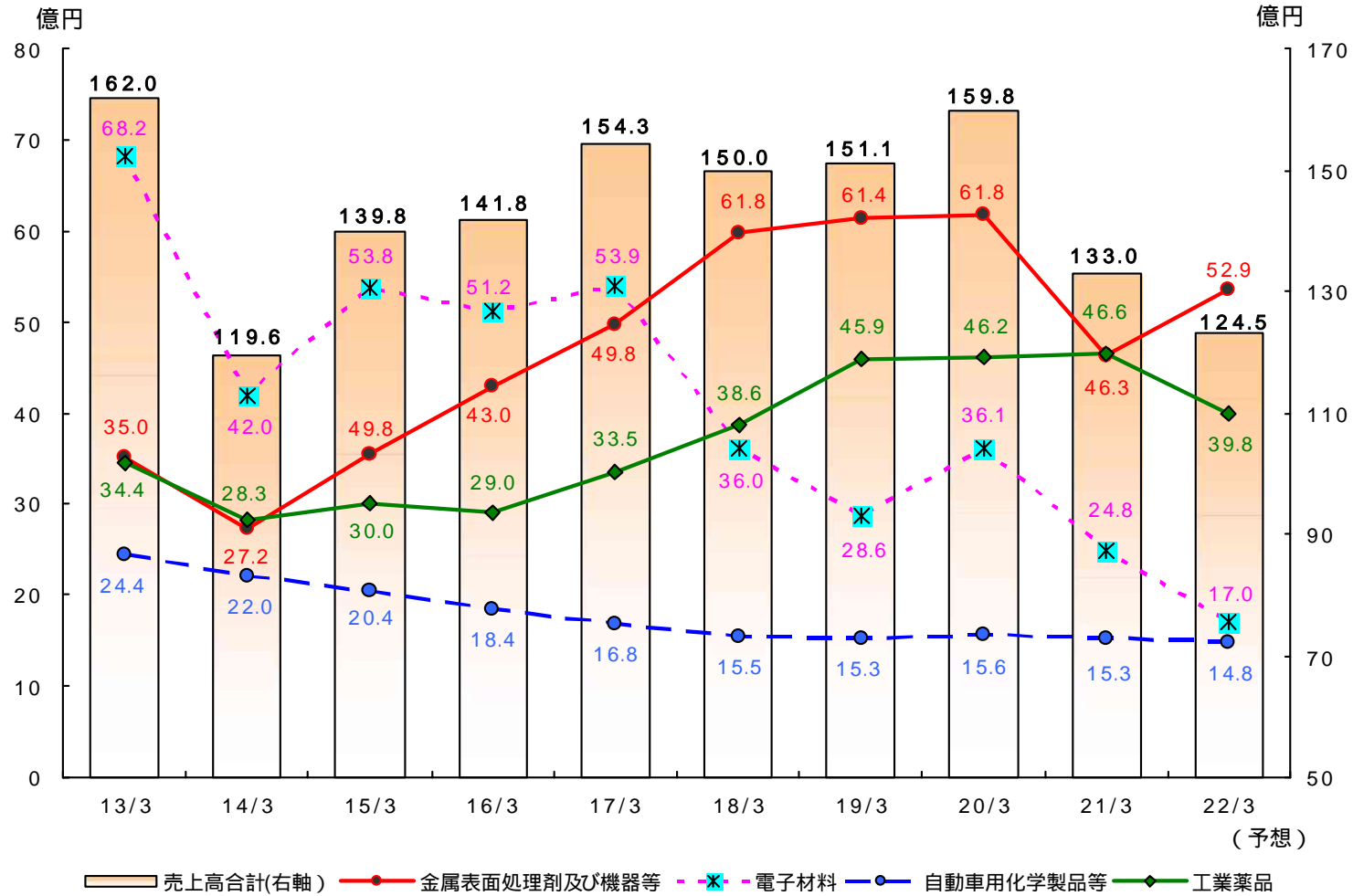
**設備投資** : 300百万円計画

開発案件に係わる研究機器等取得、維持更新設備投資、一部導入時期の見直し。

### **配当政策**

安定配当を基本としつつも、業績、経営環境、財務状況を勘案して、中間配当金15円、期末配当金15円の年間配当金30円を予定。

# 営業品目別売上高推移



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 中期経営計画について（平成20年6月発表の中期経営計画）

### 基本的な取り組み方針

- 新製品開発、新技術開発のため研究開発投資を積極的に行う。
- 基礎となる三つの分野、4つの事業をバランスよく展開し、各々の事業の収益力を高め、その総体として会社の業績の伸長をはかる。
- 自社製品比率を高め、売上総利益の拡大をはかり収益力の高い会社を目指す。
- 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ第5の事業を育成する。

三つの分野	4つの事業
電子関連分野	金属表面処理剤及び機器等
	電子材料
	（新分野）
自動車用品分野	自動車用化学製品等
工業薬品分野	工業薬品

## 中期経営計画について（平成20年度～平成22年度予想）

### 数値目標

	平成21年3月期 実績（構成比）	平成22年3月期 予想（構成比）	平成23年3月期 ～平成24年3月期
製品売上高	54.1億円 (40.7%)	53.8億円 (43.2%)	
商品売上高	78.9億円 (59.3%)	70.7億円 (56.8%)	
計	133.0億円	124.5億円	
経常利益	4.3億円	5.2億円	
当期純利益	0.7億円	3.4億円	
売上高経常利益率	3.2%	4.2%	

当社ではこれまで三カ年の中期経営計画を策定してきましたが、前期後半より、対応する事業分野で需要の急激な落ち込みがあり、回復の兆しはありますが、現状では今後三カ年の事業環境を見定めることが困難であることから、今しばらく景気動向・需要動向を見極めることとしております。

## 経営の基本方針

---

### 経営の基本方針

- 当社は自己開発・商品開発・市場開発の「三つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる三つの分野で事業をバランスよく展開し、各々の収益力を高め、総体として会社の業績の伸長をはかる。
- このような事業活動を通じて常に新しいニーズの創造・発掘に取り組み、会社の発展を通じて、株主・取引先・従業員など関係各位の信頼と期待に応え、社会に貢献していく。

企業価値及び株主共同の利益の確保・向上に努める。

**全てのステークホルダーの満足度向上**

# 当社の特徴

## 事業領域

- 界面化学を中核技術に三つの分野で4つの事業を展開  
「全天候型経営」による事業リスクの分散

## ニッチ市場で高い占有率

- はんだめっき液で国内トップシェア
- 鉛フリー製品（環境配慮型製品）

## 研究開発型企业

- 強固な研究開発体制
  - ・ 全従業員の1/3程度を研究開発人員に充てる
  - ・ 製品売上高の10%程度を研究開発費に投入
  - ・ 各大学・試験所との連携による研究開発

## 技術サポート

- 技術サポート力を基盤に、技術フォローまで含めた高付加価値サービスの提供



安定した事業基盤、財務基盤に基づくパートナー企業との信頼関係の上で新製品開発・新市場開発を展開しています。

## 目標とする経営指標等

### 目標とする経営指標

- ▶ 自社製品の売上拡大により、製品売上高の構成比50%以上を維持し、売上総利益の拡大をはかる。
- ▶ 売上高経常利益率10%以上を維持する。

この2つの目標の達成を視野に入れながら当期純利益を拡大し、ROE及びEPSの更なる向上を図っていくことが、企業価値向上につながるものと考えます。

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3 (予想)
製品割合 (%)	33.7	40.2	38.9	41.8	42.3	48.8	49.3	45.2	40.7	43.2
売上高経常利益率 (%)	6.5	3.9	6.4	8.3	10.2	12.3	12.5	10.1	3.2	4.2
ROE (%)	5.3	2.0	4.6	6.9	9.1	9.6	9.2	6.9	-0.6	2.8
EPS (円/株)	64.77	24.85	56.73	88.77	126.03	145.09	155.00	121.10	-9.76	49.02

当社を取り巻く外部環境は日々刻々と変化し、昨今のような金融環境の激変期にあっては、ROEの向上とともに企業の持続性も重要な経営課題として認識しております。このような状況のもとでは、強固な財務状況を維持し、株主、取引先等、全てのステークホルダーに安心していただける基盤の整備も重要であると考えております。

# 株主還元・内部留保の考え方

---

## 株主還元の基本方針

安定的かつ継続的な配当を基本としつつ、業績に応じ増配を検討するなど弾力的な還元策を図っていく方針であります。自己株式の取得等も資本政策として合わせて検討し、株主の皆さまに満足していただける株主還元を検討してまいります。

## 内部留保

健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実を図ってまいりますとともに、その活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。

なお、株主還元と内部留保のバランスについては、当社のおかれた環境を考慮して慎重に検討を継続していきます。

# ➤ 決算の詳細 (常務取締役 浅野 真司)

## 損益計算書の概要

(単位: 百万円)

	平成21年3月期		平成21年3月期 第2四半期		平成22年3月期 第2四半期		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	13,305	100%	7,924	100%	6,195	100%	1,728
売上原価	10,112	76.0%	5,862	74.0%	4,555	73.5%	1,306
売上総利益	3,193	24.0%	2,062	26.0%	1,640	26.4%	421
販売費及び 一般管理費	2,830	21.3%	1,530	19.3%	1,429	23.0%	100
営業利益	363	2.7%	531	6.7%	211	3.4%	320
営業外収益	96	0.7%	66	0.8%	43	0.7%	22
営業外費用	24	0.2%	14	0.2%	29	0.4%	14
経常利益	435	3.3%	584	7.3%	225	3.6%	358
特別利益	19	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	0
特別損失	239	1.8%	160	2.0%	2	0.0%	158
税引前 四半期純利益	216	1.6%	425	5.3%	224	3.6%	200
法人税等	287	2.1%	154	1.9%	79	1.2%	75
四半期純利益	71	-	270	3.4%	144	2.3%	125

\* 売上高 … 1,728百万円

製品売上 … 801百万円  
商品売上 … 926百万円

\* 売上総利益 … 421百万円

製品売上総利益 … 431百万円  
商品売上総利益 … +10百万円

売上総利益率  
26.0% 24.0% 26.4%  
(前第2四半期) (H21.3期) (当第2四半期)

売上構成の変化

製商品割合	製品	商品
(当第2四半期)	42.5%	: 57.5%
(H21.3期)	40.7%	: 59.3%
(前第2四半期)	43.4%	: 56.6%

売上総利益率の変化

	製品	商品
(当第2四半期)	48.7%	: 10.0%
(H21.3期)	47.5%	: 7.9%
(前第2四半期)	49.9%	: 7.7%

\* 販売費及び一般管理費 … 100百万円

販売促進費 … 16百万円  
運賃及び荷造費 … 22百万円  
旅費交通費 … 22百万円  
研究開発費 … +3百万円  
リース料 … 5百万円  
業務委託費 … 24百万円  
減価償却費 … 4百万円  
支払手数料 … 7百万円  
その他 … 3百万円

\* 営業外収益 … 22百万円

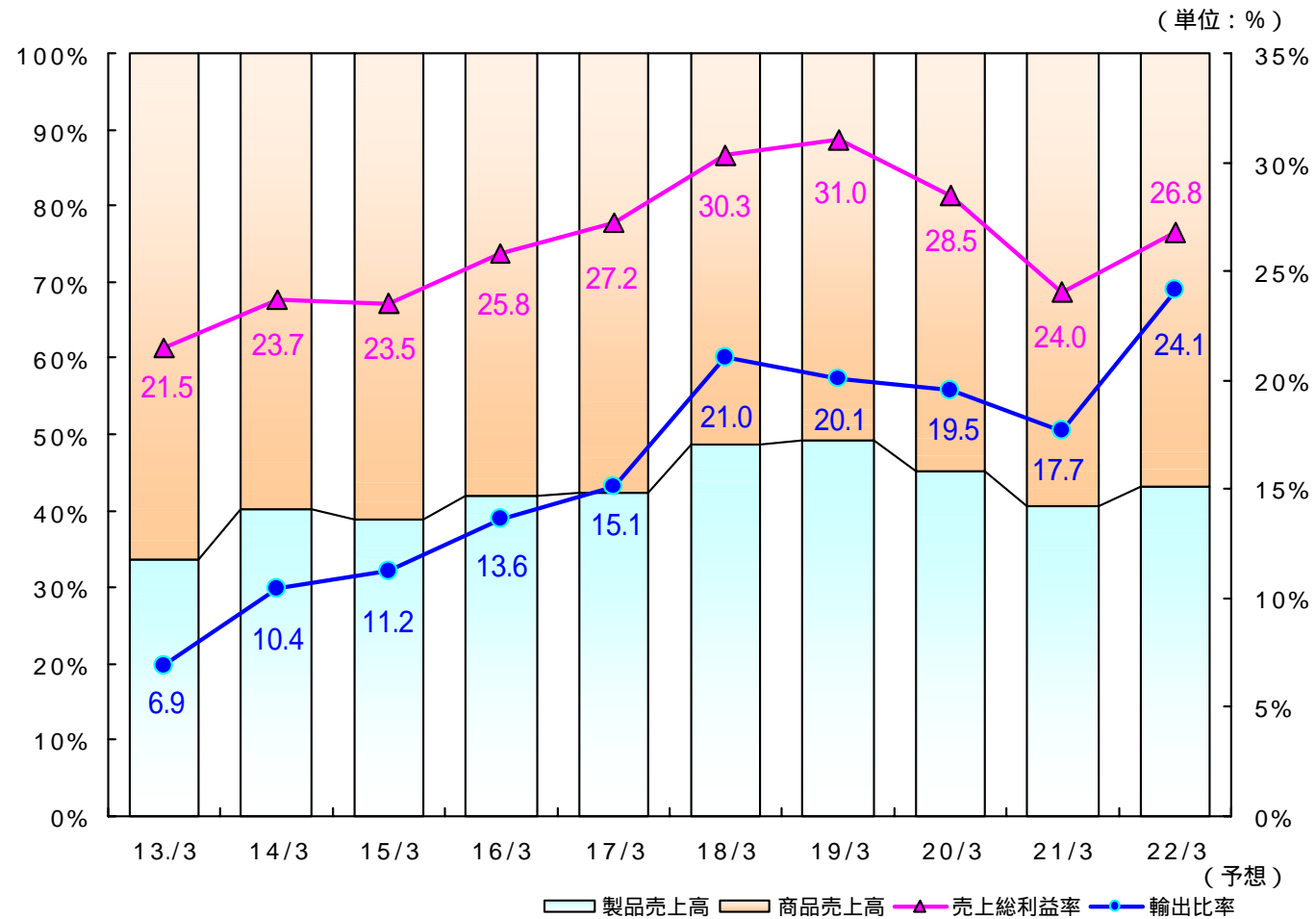
\* 営業外費用 … 14百万円

\* 特別損失 … 158百万円

有価証券評価損がなくなる

\* 法人税等 … 75百万円

## 製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期 第2四半期	増減金額
(資産の部)			
流動資産	7,506	8,930	1,423
現預金	3,042	3,396	354
売上債権	2,791	3,551	760
有価証券	415	941	526
棚卸資産	948	958	10
その他	309	81	228
固定資産	7,007	6,797	209
有形固定資産	2,692	2,656	35
無形固定資産	15	18	3
投資その他の資産	4,300	4,122	177
資産合計	14,514	15,728	1,214
(負債の部)			
流動負債	1,998	3,015	1,017
仕入債務	1,672	2,571	900
1年以内返済予定 長期借入金	30	24	6
その他	296	419	123
固定負債	369	391	22
長期借入金	26	14	12
その他	343	377	34
負債合計	2,367	3,407	1,039
(純資産の部)			
純資産合計	12,146	12,320	174
負債・純資産合計	14,514	15,728	1,214

## 主な資産・負債の増減内容

- \* 現預金・・・3,396百万円 (+354百万円)
- \* 売上債権・・・3,551百万円 (+760百万円)
  - 売上回復による売掛金増加
  - 売掛金 +648百万円
  - 受取手形 +113百万円
- \* 有価証券・・・941百万円 (+526百万円)
  - 固定振替 +551百万円
  - 償還 30百万円
- 投資有価証券・・・2,896百万円 (-201百万円)
  - 流動振替 551百万円
  - 債券購入 +148百万円
  - 評価損益 +201百万円
- \* 棚卸資産・・・958百万円 (+10百万円)
  - 商品 318百万円 (+94百万円)
  - 製品 299百万円 (+6百万円)
  - 原材料 278百万円 (+66百万円)
- \* 流動資産(その他)・・・81百万円 (-228百万円)
  - 3月末、未収入金(法人税等、還付請求分)が還付され減少
- \* 有形固定資産・・・2,656百万円 (-35百万円)
  - 設備投資 88百万円
  - 減価償却費 119百万円
- \* 仕入債務・・・2,571百万円 (+900百万円)
  - 売上回復に伴う仕入増加
  - 買掛金 +828百万円
  - 支払手形 +72百万円
- \* 流動負債(その他)・・・419百万円 (+123百万円)
  - 未払法人税等 +86百万円他
- \* 純資産・・・12,320百万円 (+174百万円)

## キャッシュ・フロー計算書の概要

現金及び現金同等物の増加 … 363百万円 (四半期末残高 3,397百万円)

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー … 705百万円

減価償却費 121百万円、売上債権の増加 760百万円

仕入債務の増加 900百万円、法人税等の還付 210百万円等

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー … 205百万円

有価証券の取得による支出 148百万円、売却及び償還による収入 30百万円

有形固定資産の取得による支出 88百万円等

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー … 148百万円

長期借入金の返済による支出 18百万円、配当金支払 124百万円等

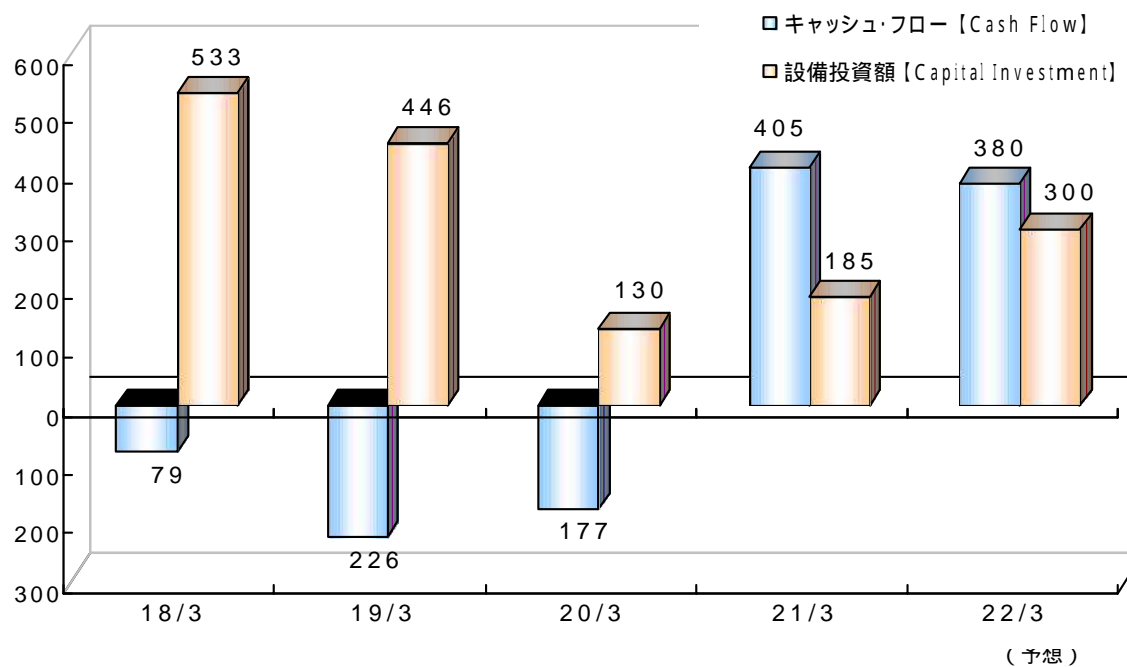
(単位：百万円)

	平成21年3月期 第2四半期	平成22年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	705
投資活動によるキャッシュ・フロー	301	205
財務活動によるキャッシュ・フロー	164	148
現金及び現金同等物の増減額	267	363
現金及び現金同等物の期首残高	2,628	3,033
現金及び現金同等物の期末残高	2,895	3,397

## キャッシュ・フローと設備投資額の推移

(単位:百万円)

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3 (予想)
キャッシュ・フロー【Cash Flow】	79	226	177	405	380
設備投資額【Capital Investment】	533	446	130	185	300
減価償却費【Depreciation Expenses】	213	239	252	270	260



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 研究開発人員と研究開発費

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3 (予想)
従 業 員	161	180	182	178	183	190
研究開発人員	43	53	55	58	62	68
割 合	概ね1/4が研究開発要員 1/3へ					

(単位：百万円) 単位：百万円)

研究開発費	559	639	680	724	770	890
研究開発用設備取得 (リース資産も含む)	50	54	104	111	68	160
製品売上高 研究開発比率	8.6%	8.7%	9.1%	10.0%	14.2%	15.6%

研究開発型事業の多い当社では、守秘義務契約により進められているプロジェクトが多く、それら詳細情報の開示には制限が課せられております。

# ➤ 新技術・新製品開発の状況

(代表取締役専務 時澤 元一)

---

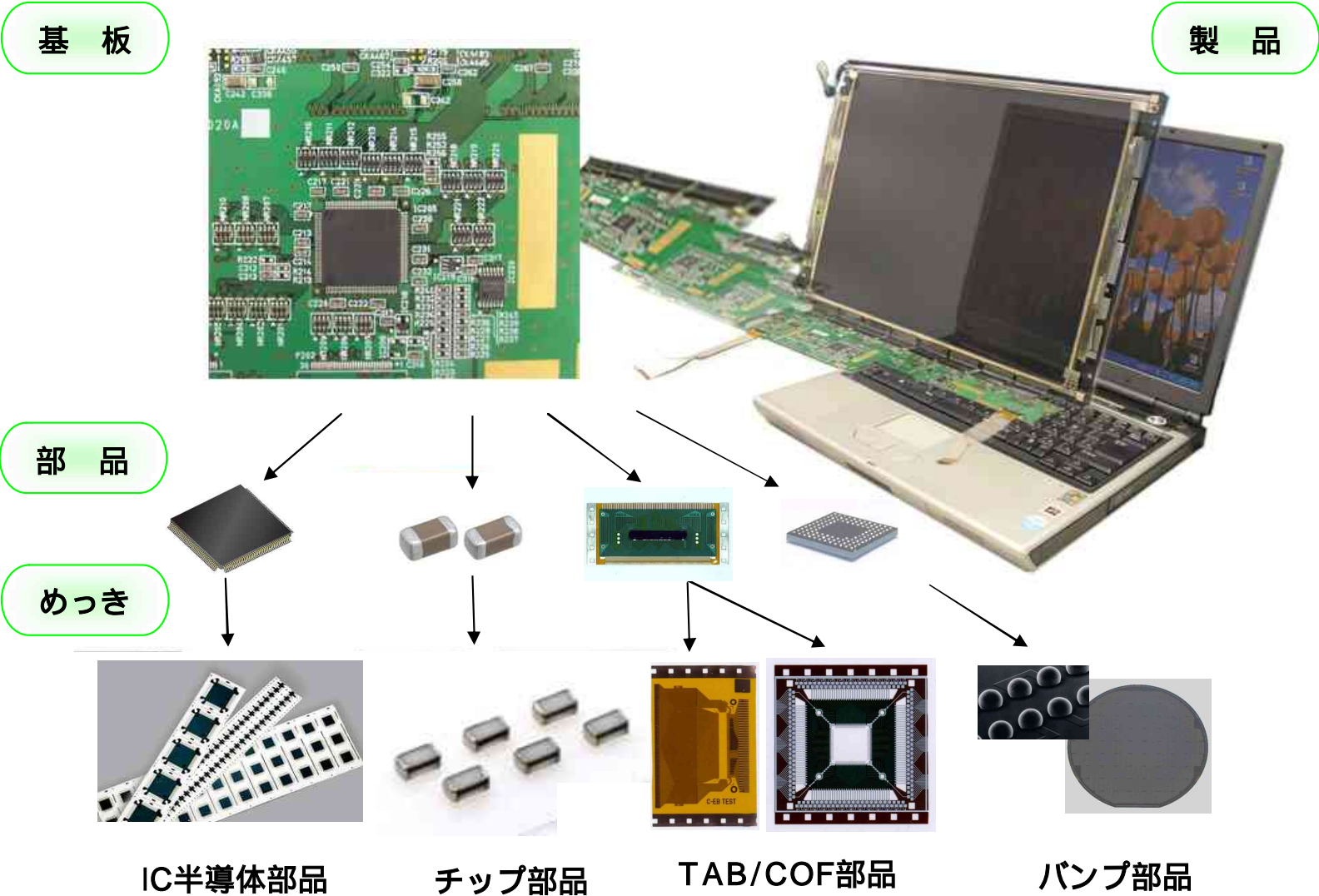
## 技術動向

- はんだめっきの技術動向

## 新製品開発の状況

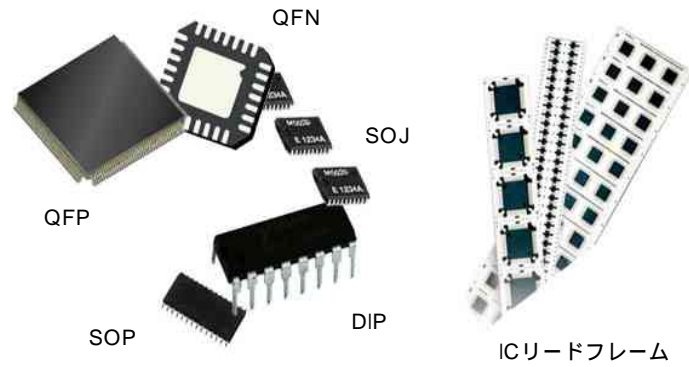
- ナノ金属を用いて新しい電子回路の形成材料をつくる研究。  
実用化を目指した応用研究段階にある。
- 銅めっきの研究。  
回路形成用銅めっき等の研究は順調。

# めっき製品紹介

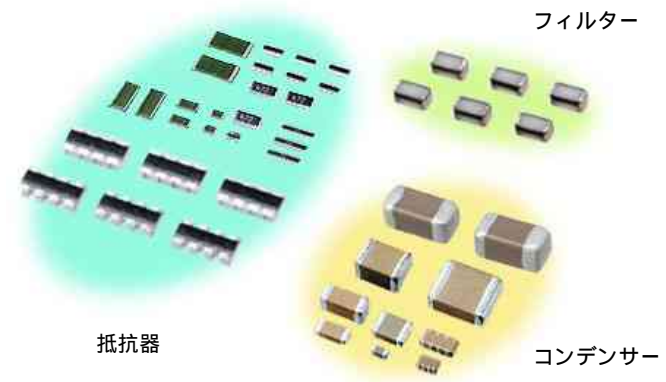


# 部品紹介

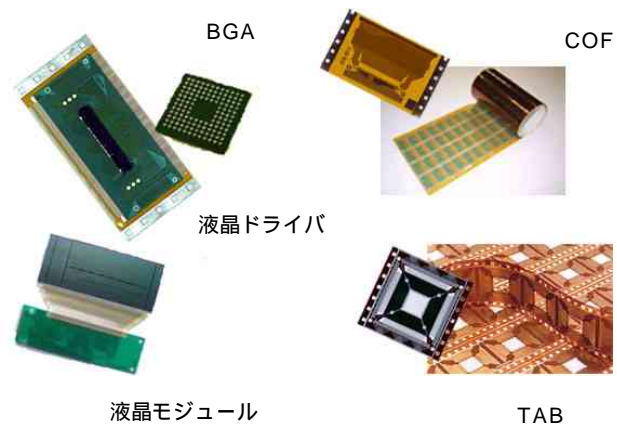
## IC半導体部品



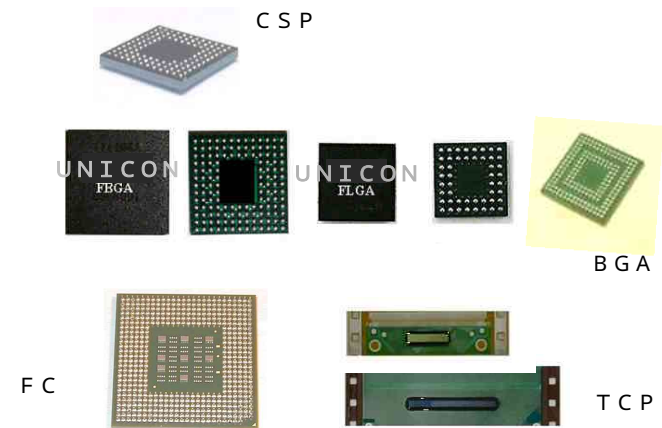
## チップ部品



## TAB / COF 部品

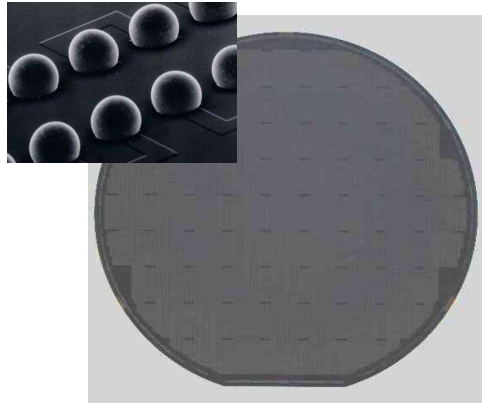


## バンブ使用部品

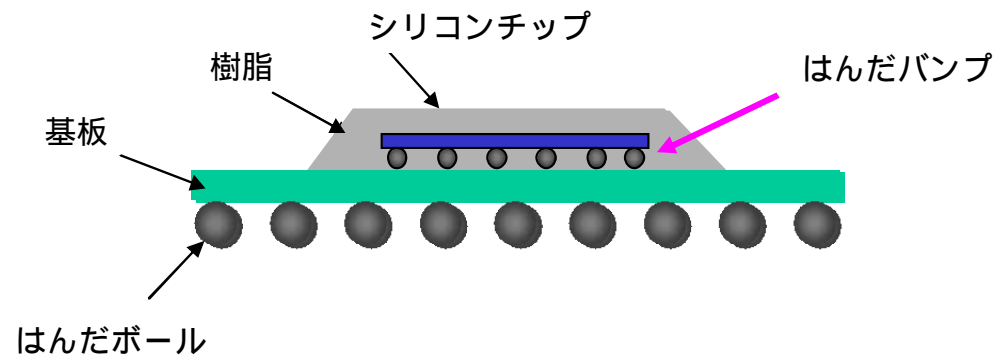


## はんだバンプを使用したBGAパッケージの構造

---

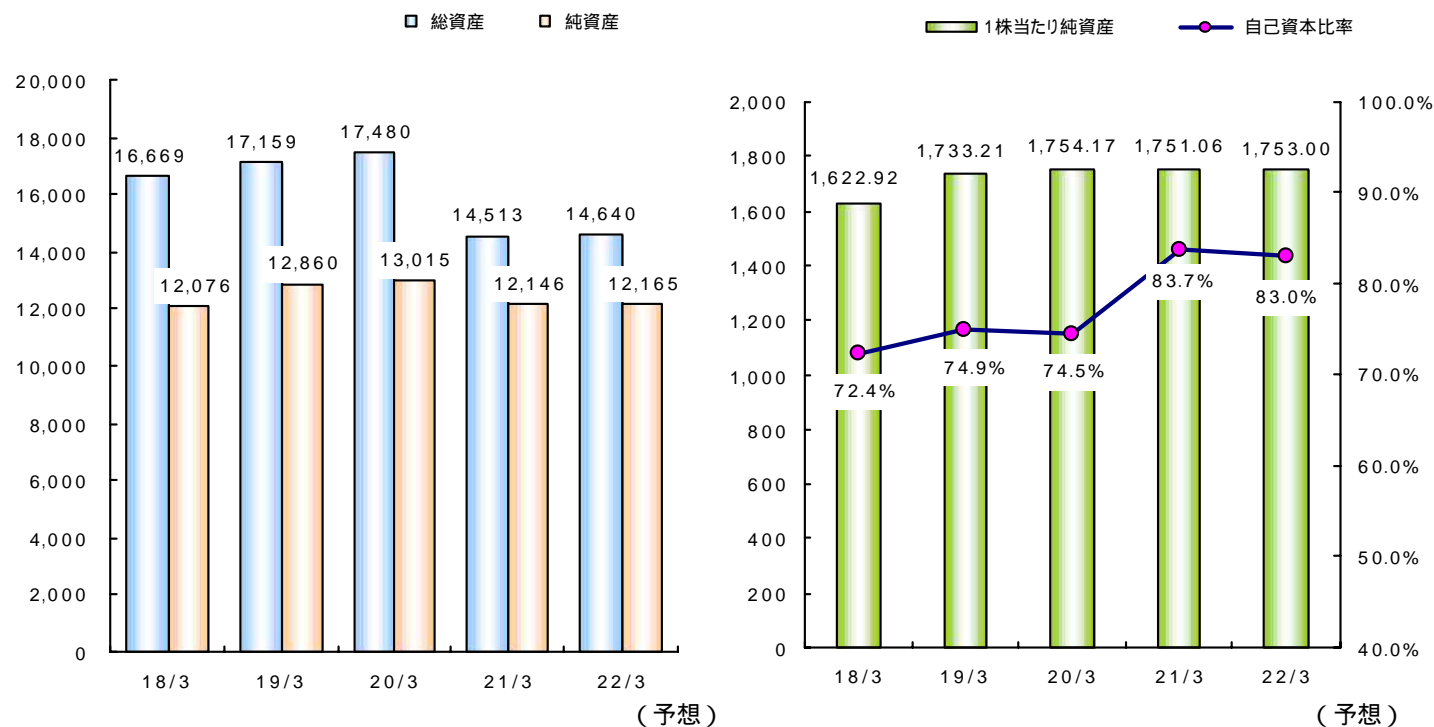


ウェハー



## 総資産・純資産・1株当たり純資産・自己資本比率の推移

		18/3	19/3	20/3	21/3	22/3 (予想)
総資産	[Total Assets] (百万円)	16,669	17,159	17,480	14,513	14,640
純資産	[Shareholders Equity] (百万円)	12,076	12,860	13,015	12,146	12,165
1株当たり純資産	[BPS] (円)	1,622.92	1,733.21	1,754.17	1,751.06	1,753.00
自己資本比率	[Equity Ratio] (%)	72.4%	74.9%	74.5%	83.7%	83.0%



業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 展示会出展予定のご案内

---



- ▶ エレクトロニクス製造・実装に関するアジア最大の技術展

### インターネフコン・ジャパン 2010

- ・ 日時 2010年1月20日（水）～ 22日（金）
- ・ 場所 東京ビックサイト

- ▶ 上海で開催される半導体イベントに出展

### SEMICON China 2010

- ・ 日時 2010年3月16日（火）～ 18日（木）
- ・ 場所 上海新国際博覧センター（SNIEC）

出展を予定しております。

- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
- 当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになれるようお願い致します。
- なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願い致します。

ありがとうございました

平成21年11月

石原薬品株式会社

(大証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>